

第2回

オリエント文明

監修・講師
本村凌二

学習のねらい

およそ5千年前の文明は文字が誕生したことによる。メソポタミアで楔形文字くさびがたもじが、エジプトでヒエログリフが工夫されて、情報が記録され、歴史が刻まれるようになった。さらにアルファベットが登場し、30字足らずの文字で表記できるようになったことは、人類の一大進歩であった。古代オリエントには、どのような文明が生まれたのかをみていく。

- ・ <人類最古の文字>
- ・ シュメール人 楔形文字 メソポタミア文明 エジプト文明
- ・ ファラオ 神権政治 ロゼッタ・ストーン
- ・ <鉄器とアルファベット>
- ・ ヒッタイト人 鉄器 フェニキア人 アルファベット
- ・ <アッシリアとペルシア> アッシリア アケメネス朝

■ ■ ■ 人類最古の文字 ■ ■ ■

紀元前 3500 年ごろ、シュメール人によって、最も古い文字のひとつ**楔形文字**が発明された。粘土板に植物の茎などで象形文字を刻み込んだものだったが、やがてメソポタミアでは楔形文字は会計記録などに使われるようになる。エジプトでもヒエログリフが生まれ、**ファラオ**や貴族の記録を残すために文字が使われた。その後、**ロゼッタ・ストーン**に刻まれた文字の解読などにより、古代オリエント文明の歴史が明らかになり、後世に伝えられるようになった。

■■ 鉄器とアルファベット ■■

紀元前 1600 年ごろ古バビロニア王国を滅ぼした**ヒッタイト人**は、初めて**鉄器**を本格的に使用し、鉄製の武器と農具により強大な軍勢力と高い農業生産力を誇った。ヒッタイト王国が滅びると、その製法はオリент各地に広まった。

文字は**フェニキア人**により、ヒエログリフの形をもとにして二十数文字で表現する**アルファベット**が開発された。やがてこの文字は西方に伝わりギリシア文字、さらにラテン文字となり、現在私たちが知る 26 文字のアルファベットになっていく。

■■ アッシリアとペルシア ■■

紀元前 7 世紀、**アッシリア**が初めてオリентを統一する。しかし重税を課すなどその支配は反乱をまねき、わずか 100 年ほどで滅んだ。紀元前 6 世紀の中ごろ、**アケメネス朝**によってオリентは再び統一された。ダレイオス 1 世によって建設されたペルセポリスは、儀式や公式行事が周辺民族も招かれて行われた壮麗な都で、宮殿の遺跡は王朝の栄光の歴史を今に伝えている。

考えてみよう 調べてみよう

- 大英博物館所蔵のロゼッタ・ストーンについて、その発見や文字解読の経緯について調べてみよう。
- メソポタミア文明とエジプト文明、それぞれの特色をまとめ比較してみよう。
- アケメネス朝は諸民族に対してどのような政策をとったのか整理しよう。